

プロジェクト開始当初と現在の発展状況に関する組織としての土台

1. 施設の管理者（上役）からの協力と関心がある。
施設のスタッフを教育することへの協力と関心を管理者から得られると確信している。

当初のスコア 点 → セッション 14 の時点でのスコア 点

2. スタッフからの信頼があり、普段は積極的に協力してくれる。

当初のスコア 点 → セッション 14 の時点でのスコア 点

3. スタッフとの個人的な関係は良好である。
お互いに率直かつ快く話をすることができ、お互いに対して協力的である。

当初のスコア 点 → セッション 14 の時点でのスコア 点

4. スタッフとのおもたちの全体的な関係は良好である。スタッフは子どもたちと優しく話をし、お互いのことをよく知っていて、何が必要かを認識している。

当初のスコア 点 → セッション 14 の時点でのスコア 点

5. 質問5は子どもの数に対するスタッフの数を問う質問であったため省略。
よって、これはスコアカードの質問6に該当する。
今後2年は、この施設でリーダーとして働くつもりである。

当初のスコア 点 → セッション 14 の時点でのスコア 点

6. スタッフの離職率は低く、新しいスタッフも適度なペースで採用されている。
定評のある職場環境である。

当初のスコア 点 → セッション 14 の時点でのスコア 点

7. スタッフは仕事に関心があり、日頃から仕事について話し合い、改善に努めている。新しい方法を学ぶことに意欲的である。

当初のスコア 点 → セッション 14 の時点でのスコア 点

8. 勤務スケジュールにトレーニングのための時間を割くためのリソースがある（各 2 時間時間の計 15 回のセッション、月 1~2 回の間隔）。スタッフの一人がインストラクター役としての仕事に時間を費やせるリソースがある（または外部からインストラクターを見つけることができた）。トレーニングプログラムを実施すると同時に、スタッフの努力をサポートするためのリソースがある。

当初のスコア 点 → セッション 14 の時点でのスコア 点

9. 施設には、必要に応じて、話し合いで作業計画や勤務スケジュールを調節できる職場環境がある。またはリーダーとして、必要に応じて、この判断への十分な影響力を持っている。

当初のスコア 点 → セッション 14 の時点でのスコア 点

10. 施設／里親家庭と地域との間で頻繁かつ積極的に連絡を取り合っている。施設関係者以外にも、地域の人たちが施設を訪問し、スタッフと子どもたちは地域から認識され、子どもたちは頻繁に施設外へ出かけている。

当初のスコア 点 → セッション 14 の時点でのスコア 点

11. スタッフの養育専門教育のレベル：

- ・ 2 年以上の専門教育を受けたスタッフが大半である → 6 点
- ・ 0~2 年未満の専門教育を受けたスタッフが大半である → 4 点
- ・ 学歴は高いが、この分野の専門教育は受けていない → 3 点
- ・ 特になし → 0 点

当初のスコア 点 → セッション 14 の時点でのスコア 点